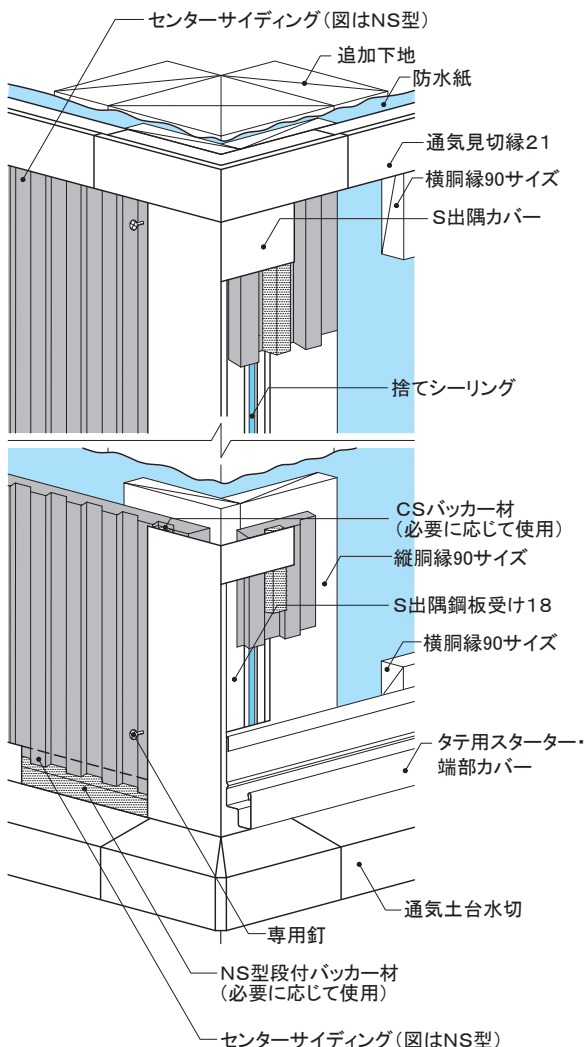


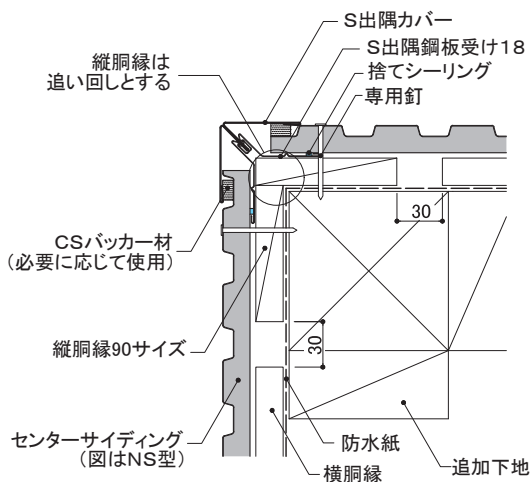
2 各部の基本納まり図

2-5 出隅部

②縦張りの場合



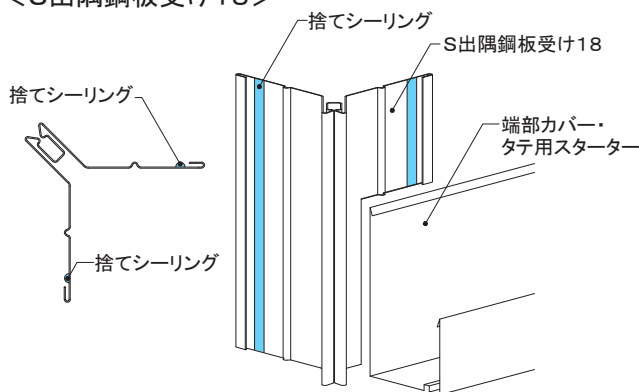
<S出隅鋼板受け18+S出隅カバー>



- 横胴縁と縦胴縁の間に通気のため30mmの隙間を設けます。
- 出隅部はS出隅鋼板受け18とS出隅カバーを使用します。
- S出隅鋼板受け18は図の位置に捨てシーリングを施工します。
- 土台部でセンターサイディング本体の施工に端部カバーなどを使用する場合、S出隅鋼板受け18勝ちにします。
- S出隅鋼板受け18とタテ用スターターや端部カバーが重なる際は、S出隅鋼板受け18を図のように適宜切り欠きます。

型	出隅受け材	出隅カバー
M型、NS型、ST型、 Jシリーズ、F型、FB型、 FN型、A型	S出隅鋼板受け18	S出隅カバー

<S出隅鋼板受け18>



- センターサイディングの張り始め、張り終わりでオス実を切断するなど、実部に留め付けられない場合は、表面から釘留めします。木下地の場合は専用釘(φ2.75mm×50mm)を用いて500mm以下の間隔で、鉄骨造の場合は専用ビス(P35)を用いて610mm以下の間隔で留め付けます。